

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



ACG033-13

会場:201B

時間:5月25日 17:30-17:45

温暖化するシベリアの自然と人 Global Warming and the Human-Nature Dimension in Siberia

檜山 哲哉^{1*}, 山口 靖², 太田 岳史³, 高倉 浩樹⁴, 井上 元¹

Tetsuya Hiyama^{1*}, Yasushi Yamaguchi², Takeshi Ohta³, Hiroki Takakura⁴, Gen Inoue¹

¹ 総合地球環境学研究所, ² 名古屋大学大学院 環境学研究科, ³ 名古屋大学大学院 生命農学研究科, ⁴ 東北大学 東北アジア研究センター

¹RIHN, Japan, ²GSES, Nagoya University, Japan, ³GSBS, Nagoya University, Japan, ⁴CNAS, Tohoku University, Japan

シベリアは温暖化が最も顕著に進行すると予測される地域のひとつである。長期的な気温の上昇として表出する温暖化は、短期的には乾燥と湿潤を繰り返しながら、永久凍土と陸域生態系に影響を及ぼす。本発表では、総合地球環境学研究所で現在行っているシベリアに焦点を当てた研究プロジェクト（地球研・シベリアプロジェクト）の目的と構造、これまでに得られた成果を紹介し、今後の課題について議論したい。なお、地球研・シベリアプロジェクトは、人工衛星データを用いてシベリアの水・炭素循環の特徴を俯瞰的にとらえ、それらの変動の近未来予測を行うグループ（広域グループ）、水・炭素循環の変動要因を現地観測から明らかにするグループ（水・炭素循環グループ）、都市と農村の双方において、水・炭素循環の変動に対して人々がどのように適応しているのかを見極め、今後の適応策を考察するグループ（人類生態グループ）から構成されている。

キーワード: 地球温暖化, 永久凍土, タイガ, 洪水, 適応

Keywords: global warming, permafrost, taiga, flood, adaptation